

2016年度 国際社会貢献センター(ABIC)事業報告

活動分野	主要事業	主な活動状況 <活動実績:2016年度 延べ 2,392名> <2017年3月末活動会員数: 2,750名(2016年3月末比79名増加)>	2014年度活動実績	2015年度活動実績	2016年度活動実績	2000~16年度活動実績累計
政府機関関連	ODA関連等への人材推薦・紹介、政府関係諸事業の受託、本邦中小企業支援関連への人材推薦・紹介、人材育成セミナー等への講師派遣等	海外での活動: JICA海外短期・長期専門家(ザンビア、タンザニア、ミャンマー、南アフリカ)、科学技術振興機構インド事務所長、内閣府対米広報短期派遣1名。国際交流基金「日本語パートナーズ派遣事業」の支援継続。パートナーズ開始以来の会員の合格者は11名。在ロシア日本センター研修事業講師4名派遣。	114	70	92	1,459
		国内での活動: 科学技術振興機構専門職、JETRO新輸出大国コンソーシアム専門家、JETRO輸出有望案件発掘支援事業専門家、JETRO千葉・大阪・徳島の中小企業支援アドバイザー、中小企業基盤整備機構の中小企業支援アドバイザーに複数名。				
		上記諸機関に加え、文科省留学生交流拠点整備事業委員および留学生住環境の在り方検討委員、国際交流基金日本語パートナーズ事業委員等を務めた。また、文部科学省、経済産業省、中小企業庁、近畿経済産業局等とのコンタクトを継続し、公募案件への推薦・紹介・受託による活動を行った。				
NGO / NPO等 非政府機関	人材推薦・紹介、活動強化への協力	活動に関する情報収集に努めた。	5	3	2	170
地方自治体・ 中小企業支援	地方自治体の推進する中小企業育成支援(販路開拓、海外ビジネス促進等)や農産品等輸出促進・企業誘致等への協力、及び中小企業、諸組織への直接支援・協力(海外進出・経営支援等)	年間業務委託契約締結先の地方自治体(和歌山県/わかやま産業振興財団、山口県/産業振興財団、富山県/新世紀産業機構、千葉県/ジェトロ千葉貿易情報センター、石川県、福井県、横浜市、宮崎県、愛媛県、品川区および自治体国際化協会(クレア))との取り組み継続に加え、新たに鳥取県、高知県、同県大川村との取り組みを行った。	802	977	889	6,647
		東京都中小企業振興公社ビジネスナビゲーターおよび海外販路開拓アドバイザーの他、青森県/神奈川県/埼玉県/茨城県/富山県/佐賀県の企業誘致や販路開拓アドバイザー、福島県での国際化支援アドバイザーとして活動。また、自治体関連組織での翻訳活動、企業の海外ビジネスアドバイザー等の紹介・推薦を行うとともに各自治体などが主催するセミナーへの講師派遣を行った。個別企業支援として複数の会員が米国、中国、カンボジア等に派遣された。大阪府/東大阪市共同のクリエーションコア、大阪府商工労働部で支援活動を継続し、神戸市/経済局のアジア進出支援センターと産業振興財団には約50名の会員が登録済みで、要請に応じて中小企業のサポーターとして長期・短期で出勤。滋賀県産業支援プラザとは覚書を更新し海外進出業務を含めた支援業務を遂行。新規に大阪産業創造館への協力も開始した。				
		活動実績への評価により、ホームページ、会員経由等により地方自治体、中小企業・団体からの支援要請が増加し、活動機会が広がった。				
外国企業支援	外国企業の日本進出・販路開拓支援及び日本企業海外赴任者研修等	9年目となった国際ナノテクノロジー国際総合展やFoodex 2017でのバイリンガル・ビジネス・アドバイザーをスペイン語圏在京大使館等から要請された。また、アイオワ州政府日本代表や在日サウジアラビア大使館商務部アドバイザーは継続して活動した。外国企業の日本でのビジネスについての相談や商談支援も継続。	114	106	149	895
		企業の海外赴任前研修(日本貿易会から受託等)への講師派遣。2016年度は新規分野開拓として国際取引業務に関するE-Learning教材(ナレーションやスライド)作成の大型案件を受注し完遂した。				
教育	大学および 社会人講座	年間で48大学・組織へ講師を派遣。年間講座数80、コマ数 1,522を実施。対象組織数、年間講座数とも堅調に推移した。2016年度は特に英語による講義依頼の増加に対応すべく、英語教授法の勉強会も内容をレベルアップして継続実施し、会員の活動機会提供に努めた。	278	273	289	4,403
		従来の産業論、地域論を核とする授業に加え、青山学院大学地球社会共生学部における日本文化論、東京海洋大学のロジスティクス論、職業能力開発総合大学校における問題解決技法などの新たな分野の講義提供を行った。また園田学園女子大学社会人講座が3年ぶりに復活し、関西地区における多くの会員が講師として登壇した。				
		東京外国語大学社会・国際貢献情報センターとの社会・国際貢献に関する包括協定書に基づき定例会議開催。				
		ABICの活動に関連するセミナーなどでABIC大学講座の取り組みPR活動を行っており、来年度新規講座獲得に向けて各大学との協議を行っている。				
	国際理解 教育支援等	小中高校生への講師派遣 在日外国人児童への 日本語指導等	小中高校生や教職員への国際理解講義・講演会に引き続き注力。千葉県教育委員会の新任校長・教頭研修で講演を実施した。  横浜市立商業高校、日出高等学校、中央区立阪本小学校、大泉第二小学校では国際理解教育を、また横浜市立大綱中学校他、横浜市立中学6校では職業講話を実施。関西地区では大津市立栗津中学校、兵庫県立高等学校(上郡・西脇・尼崎小田・宝塚西)での授業を実施した。  海外からの留学高校生と日本の高校生との「高校生国際交流の集い」(1泊2日)を関西学院大学で実施した。 関東では青山学院大学と連携し「高校生国際交流の集いABICキャンプ」を同大学で実施した。  東京都多摩市立教育センターおよび新宿区未来創造財団に協力し、外国籍児童・生徒に対する日本語学習支援を実施。  滋賀県教育委員会学校支援センターHPIにABIC関西デスクの国際支援教育活動内容を登録継続。京都市教育委員会にも同様の団体登録継続。	140	172	156
在日留学生支援	在日留学生支援・交流	東京国際交流館において日本語広場、日本文化教室に多数の講師陣を送るとともに、バザー、フェスティバル等の催しにも協力。 兵庫国際交流会館でも日本語教室、日本文化教室(書道、華道、空手)を継続して実施し、館内外より多数の学生が参加した。バザーや文化祭にも協力した。	458	641	671	3,696
		東京外国語大学留学生支援協会や会員商社に協力して、留学生や外国人社員への日本語指導も継続実施。				
		2006年度から開始した東京国際交流館在在の留学生家族支援(健康診断、子女入園・入学手続き等)を継続し、大変好評を得ている。				
国際イベント等	国際イベント等への協力	国際大会へのボランティア派遣要請はなし。	49	0	0	185
その他活動・ 一般人材紹介等	その他活動・一般人材 紹介等	会員会社の社会貢献事業への支援(三井物産推進の「在日ブラジル人子女教育支援」①奨学金供与プロジェクト②NPO等支援プロジェクト等継続)口	110	138	144	1,357
		中京大学/日本文化大学/神田外語大学の教授・講師、東京外国語大学職員、立命館大学インド事務所長、日本開発政策研究所(カンボジア工業団地マネージャー)が継続。 新たに日仏会館事務局長、中東協力センターサウジアラビア職業訓練所長、帝京大学講師の人材紹介を行った。その他、外国人技能労働者への日本語教育支援も継続した。				
		ABIC日本語教師養成講座(第20、21期)を実施し14名が修了証を取得した。				
合 計			2,070	2380	2,392	20,177

活動会員関係	活動会員増強	各社OB/OGへの配布文書や退職時の一連書類に同封。委員会等での活動報告。																																																						
	活動会員スキルアップ	大学・EC等講座講師勉強会を実施 11月、第10回ABIC大学・EC講座講師勉強会、12月、Teaching in English in Japanese Universitiesを実施。 2006年10月開講の日本語教師養成講座を継続し、これまでの講座修了者は193名で主にボランティアとしての日本語講師として活躍している。																																																						
	懇親会	9月23日に東京、3月7日に大阪で開催。会長以下、多数の活動会員、関係者が出席して親睦を深めた。																																																						
広報活動等		活動会員、関係先向けの『ABIC Information Letter』を発行(年3回 6/11/3月)																																																						
		日本貿易会の機関誌『日本貿易会月報』に毎月「ABICプラザ」のコーナーでABICの活動報告や活動会員のレポートを掲載し、ABIC活動のPR、紹介に努めた。 また日本貿易会のホームページにおいてもABICのホームページをリンク。																																																						
		日経産業新聞(9月26日版)に日本貿易会とともにABIC活動の記事広告を掲載。週刊ダイヤモンド12月10日号にて「ABIC会員の語学力(英語+α)」を掲載。																																																						
		経済広報センター、中小企業基盤整備機構、大阪産業創造館、東京都教職員研修、大学コンソーシアムひょうご神戸等でのプレゼン実施																																																						
		文部科学省管轄「住環境・就職支援等受入れ環境充実事業(留学生交流拠点整備事業)」、外務省管轄「国際交流基金日本語パートナーズ派遣事業委員会」、放送番組国際交流センターの「番組評価委員会」、文部科学省管轄「首都圏インターンシップ推進機構」等でABICのPRに努めた。																																																						
	東京国際交流館および兵庫国際交流会館が主催するバザーに協力。また、夏の「交流館フェスティバル」において、ABICが指導している茶道、華道、書道コーナーを設けて来場者に対応した。バザーは、ABIC活動会員ならびに社会貢献・ABIC委員会経由法人正会員各社役職員から多くの品物を寄贈頂き、売上金の殆どを交流館の行事に役立てて貰うべく寄贈した。																																																							
事務局関係	事務局体制	事務局は24名体制(事務局長1名+パート事務職2名+東京CN16名+関西CN5名) なお、在日ブラジル人子女教育支援の特定プロジェクトスタッフおよびパートタイマーとして、複数名任用。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">事務局長:</td> <td>山口俊之(2016年6月より)</td> <td style="text-align: right;">【年度毎活動実績(延べ人数)】</td> </tr> <tr> <td>経理・総務:</td> <td>名鏡敬治・秋元まゆみ・青柳友紀</td> <td>2000年度: 17</td> </tr> <tr> <td>地方自治体・中小企業支援グループ:</td> <td>川俣二郎、野津 浩、白石一郎、高塚謙次、山中健司</td> <td>2001年度: 237</td> </tr> <tr> <td>外国企業支援グループ:</td> <td>西山勝昭、宮内雄史</td> <td>2002年度: 444</td> </tr> <tr> <td>大学・EC講座グループ:</td> <td>森 和重、猪狩真弓、布施克彦、恩田英治、坂野正典、(藤原照明、吉富茂隆)</td> <td>2003年度: 589</td> </tr> <tr> <td>小中高校国際理解教育グループ:</td> <td>新妻純一、(川俣二郎)</td> <td>2004年度: 569</td> </tr> <tr> <td>留学生支援グループ:</td> <td>田中武夫、鎌形勲、(鹿志村 馨)</td> <td>2005年度: 751</td> </tr> <tr> <td>中南米デスク:</td> <td>(森 和重)</td> <td>2006年度: 779</td> </tr> <tr> <td>在日ブラジル人子女教育支援チーム:</td> <td>(森 和重)、畑 宏幸、星野和俊、柴崎敏男、安達公一、小池康雄、松本一子</td> <td>2007年度: 1,144</td> </tr> <tr> <td>関西デスク:</td> <td>藤原照明、橘 弘志、吉富茂隆、松尾謙二、鹿志村 馨</td> <td>2008年度: 1,305</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2009年度: 1,440</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2010年度: 1,428</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2011年度: 1,390</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2012年度: 1,602</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2013年度: 1,640</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2014年度: 2,070</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2015年度: 2,380</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2016年度: 2,392</td> </tr> </table>	事務局長:	山口俊之(2016年6月より)	【年度毎活動実績(延べ人数)】	経理・総務:	名鏡敬治・秋元まゆみ・青柳友紀	2000年度: 17	地方自治体・中小企業支援グループ:	川俣二郎、野津 浩、白石一郎、高塚謙次、山中健司	2001年度: 237	外国企業支援グループ:	西山勝昭、宮内雄史	2002年度: 444	大学・EC講座グループ:	森 和重、猪狩真弓、布施克彦、恩田英治、坂野正典、(藤原照明、吉富茂隆)	2003年度: 589	小中高校国際理解教育グループ:	新妻純一、(川俣二郎)	2004年度: 569	留学生支援グループ:	田中武夫、鎌形勲、(鹿志村 馨)	2005年度: 751	中南米デスク:	(森 和重)	2006年度: 779	在日ブラジル人子女教育支援チーム:	(森 和重)、畑 宏幸、星野和俊、柴崎敏男、安達公一、小池康雄、松本一子	2007年度: 1,144	関西デスク:	藤原照明、橘 弘志、吉富茂隆、松尾謙二、鹿志村 馨	2008年度: 1,305			2009年度: 1,440			2010年度: 1,428			2011年度: 1,390			2012年度: 1,602			2013年度: 1,640			2014年度: 2,070			2015年度: 2,380			2016年度: 2,392
	事務局長:	山口俊之(2016年6月より)	【年度毎活動実績(延べ人数)】																																																					
経理・総務:	名鏡敬治・秋元まゆみ・青柳友紀	2000年度: 17																																																						
地方自治体・中小企業支援グループ:	川俣二郎、野津 浩、白石一郎、高塚謙次、山中健司	2001年度: 237																																																						
外国企業支援グループ:	西山勝昭、宮内雄史	2002年度: 444																																																						
大学・EC講座グループ:	森 和重、猪狩真弓、布施克彦、恩田英治、坂野正典、(藤原照明、吉富茂隆)	2003年度: 589																																																						
小中高校国際理解教育グループ:	新妻純一、(川俣二郎)	2004年度: 569																																																						
留学生支援グループ:	田中武夫、鎌形勲、(鹿志村 馨)	2005年度: 751																																																						
中南米デスク:	(森 和重)	2006年度: 779																																																						
在日ブラジル人子女教育支援チーム:	(森 和重)、畑 宏幸、星野和俊、柴崎敏男、安達公一、小池康雄、松本一子	2007年度: 1,144																																																						
関西デスク:	藤原照明、橘 弘志、吉富茂隆、松尾謙二、鹿志村 馨	2008年度: 1,305																																																						
		2009年度: 1,440																																																						
		2010年度: 1,428																																																						
		2011年度: 1,390																																																						
		2012年度: 1,602																																																						
		2013年度: 1,640																																																						
		2014年度: 2,070																																																						
		2015年度: 2,380																																																						
		2016年度: 2,392																																																						
	事務局運営	経理担当職員が5月より交代(常勤パート)、また、事務担当職員を6月より非常勤から常勤パートに転換。																																																						
会員状況 (2017年3月末)	法人正会員	16社、1団体(2016年3月末比増減なし): 伊藤忠商事、稲畑産業、岩谷産業、兼松、興和、JFE商事、住友商事、双日、蝶理、豊田通商、長瀬産業、 阪和興業、日立ハイテクノロジーズ、丸紅、三井物産、三菱商事、日本貿易会 (社名50音順)																																																						
	個人正会員	11名(2016年3月末比増減なし): 池上久雄、寺島実郎、小島順彦、宮原賢次、吉田靖男、岡素之、佐々木幹夫、勝俣宣夫、小林栄三、檜田松瑩、市村泰男(入会順)																																																						
	法人賛助会員	4社(2016年3月末比1社減): イーコマース研究所、エックス・エヌ、国際行政書士機構、NPO法人賛否両論 (社名50音順)																																																						
	個人賛助会員	404名(2016年3月末比 1名増)																																																						
	活動会員	2,750名(2016年3月末比79名増)																																																						